

「赤旗」宣伝スポット

2020年3月

ご近所、ご通行中のみなさん、こんにちは。日本共産党です。今日は、日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」を、おすすめにまいりました。

（

※くり返し

※日刊の「しんぶん赤旗」は、多彩な紙面を毎日お届けし、1ヶ月3497円です。スマホで読める電子版もあります。家族みんなで楽しめる、週刊の「赤旗」日曜版は、1ヶ月930円です。

●新型コロナウイルスから国民の命と健康をまもるのは政治の責任です。日本共産党は、感染をふせぎ、治療をすすめるため、新たな補正予算も組んで、万全の対応をすべきと政府に求めています。どうしたら解決にむかうか、専門家の知見も掲載し、確かな情報をお届けする「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●憲法を尊重し擁護することが義務づけられているのに、先頭にたつて改憲を叫ぶ安倍首相。ねらいは、9条を壊し、海外で武力行使できる国にすることです。アメリカの要求にしたがって、日本の若者に海外で血を流させることなど許せません。「しんぶん赤旗」は、安倍改憲の危険性を明らかにし、平和と民主主義、人権を守るために全力をあげています。

●しんぶん赤旗のスクープと共産党国会議員の質問で火蓋をきつた「桜を見る会」の追及。国民の税金で自分の支援者を接待。次々に明らかになる証拠を前に、安倍政権はウソとゴマカシで居直っています。野党は共同し、政府ぐるみの証拠隠しを許さない論戦をくりひろげています。桜問題のいぢばん確かに情報源「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●消費税10%で景気が悪くなっています。アメリカの経済新聞からも「回復力が最も必要な時に経済を締め付けた」と指摘され

るほど間違った増税です。日本共産党は、緊急に消費税を5%にもどそうと提案。財源は、大企業や超富裕層に、もうけに応じた負担をしてもらえばまかなえます。くらしを守る経済政策を提案する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

希望の動きを届けます。

※くり返し

●阪神・淡路大震災から25年、東日本大震災から9年、その後も、地震、台風、豪雨などの災害が相次いでいます。「異常気象」が日常のことになつております。防災対策と被災者への支援を抜本的に強める必要があります。「しんぶん赤旗」は、被災者の立場で災害報道を続け、安心して暮らせる日本をめざして頑張っています。

●世界中で、気候変動への対策を求めて若者たちが立ち上がっています。再生可能エネルギーの普及へ、根本的切り替えが必要です。石炭火力発電を推進するなど、温暖化ガス削減に後ろ向きな安倍政権では、若者の声にはこたえられません。「しんぶん赤旗」は、温暖化の危機と、その打開を求める世界の運動を積極的に報じています。ぜひお読みください。

●「しんぶん赤旗」は、創刊92周年となりました。戦前から、政府の弾圧にまげず、平和と民主主義を主張。いま、市民と野党の共闘を発展させる国民共同の新聞として役割を果たし、他党の議員からも「野党共闘の重要なキーマンになつていて」と評価されています。野党連合政権で新しい政治を切り開くため、ぜひ、「しんぶん赤旗」をお読みください。

※くり返し